



協議会サイト

豊中駅前まちづくり

<https://toyonaka-machikyo.com/>



協議会SNS
Instagram

まちづくりの芽 .66 ゆっくり楽しく 歩き回れるまちを目指して

＜スクランブル交差点改良工事について＞

現在、スクランブル交差点の改良工事について具体的な検討が続いていると聞いています。大阪府による地元説明会が開催されたのは2014年11月6日でした。今号では、示された計画案について抜本的に見直しを求めた最大の要因について、同年の12月号に掲載された「じゃすとナウとよなか Vol.136」の記事を紹介します。

2014年10月中旬号

豊中駅前まちづくり推進協議会発行

JUST NOW TOYONAKA PRESS

Vol. 137

じゃすとナウとよなか

ゆっくり楽しく

歩き回れるまちを目指して

スクランブル交差点の改良工事説明会の報告 2

■質疑応答

①の周りについて

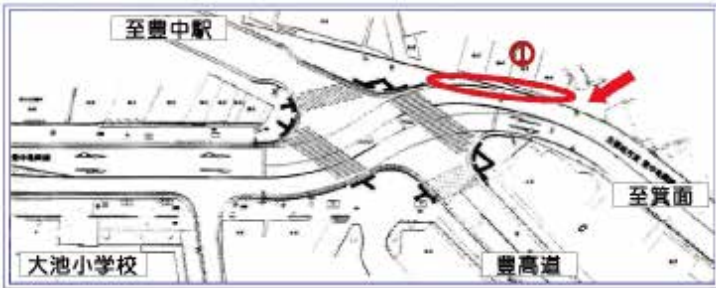
出席者：

- ・矢印(花の部屋前)からの人通りが多く、通学路でもある。歩道部分が大変狭く、信号待ちの歩行者に車やバスがギリギリまで寄って来て危険である。現在は矢印まで横断歩道があるが、コンパクトになると横断歩道まで歩道が無いところを通ることになり大変危険である
- ・電柱があるため、歩道がより狭く、見通しも悪い

- ・停止線を下げられないか。また横断歩道を現状まで広げることができないか

大阪府：

- ・①の部分については外側線に沿って通っていただきたい
- ・通行については阪急バスに意見を求める
- ・電柱については関電と協議する
- ・停止線の位置は警察の基準があるが、歩道の環境を整えるため警察と協議する



スクランブル交差点(画面中央)工事で今回議論になっている場所は右上の楕円で囲った場所(矢印)

駅前の花便り 46

『みどりの愛護』功労者国土交通大臣表彰の推薦に関する確認依頼のお話しが、市から舞い込みました。なんと晴れがましくも、有り難いお話でしょう。全国枠で市が推薦しても通るかどうかわからないと言うことでした。しかしノミネートされただけでも誇らしく、嬉しいことです。長きにわたる花の活動。先輩方から繋がる歴史ある活動です。『努力は継続なり、継続は力なり、力は結果なり。』そんな言葉が頭をよぎりました。とにかく楽しみにしたい近況です。今年も花の力を借りて、やる気が湧いています。

11/27 豊中駅前の美化清掃活動に参加しました



環境部会の活動風景



豊中駅周辺に咲く素敵なお花



ハボタン(銀行前)



サザンカ(こもれび)



ランタンキュラス(駅前)



スイセン(本町5)

私が考える「まちづくり」第37回

「読者のみなさんから“まちづくり”について、それぞれの思いを記述していただいています」

特に用事が無くても“ふら～っ”と出掛けたい、安全で安心して歩けるまちになれば良いと思います。

数十年前、地方のまちに住んでいた時のことです。まちの中心部を流れる川に色とりどりの錦鯉がいて、河原にはニワトリや兎、ヤギが放し飼いられていました。自宅から歩いて30分くらい掛かるのですが、幼かった娘たちと兎に食べさせる野草の葉っぱを摘んだり、川に沿って並ぶ小さな雑貨店などを覗きながら歩いたのも楽しい思い出です。

豊中駅の周辺で、気分転換が何か訪れるスポットは何力所かありますが、そこに辿り着くまでは、とても“歩き回りたくない”ような街路ではないように思います。これからの我が国は急速に人口が減少し、住居についても駅周辺で高層化が進むと戸建て住宅はどんどん余ってきます。まちの形を大きく整備し直せば、年配者や障がい者にも安全で安心して通行できる優しい街路ができるのではないのでしょうか。

N.N

“写真で見るまちの今昔” その1

この10年ほどの間にマンションが建ち並ぶなど、豊中駅前は大きく変わりました。また令和3年度に豊中市は「豊中駅周辺再整備構想」を作成し駅前の将来像を検討しています。このような状況の中、昔の駅前の姿を写真で振り返り、これからのまちづくりに役立つのではないかと考え企画しました。



交差点内の道標



昭和30年頃の写真
未だこの頃はスクランブルではなかった。



現在の写真

＜スクランブル交差点；その1＞

スクランブル交差点内の道標

スクランブル交差点の隅に石の道標が建っています。それぞれ、「右 豊中々 梅花女 学校道」、「左 箕面街道桜井谷村 野畑 少路 内田」、「昭和2年3月 施主 桜井谷村内田 溝淵豊吉」と刻まれています。昭和2年(1927年)は、豊中村が「豊中町」となった年です。「豊中々」とは大正10年(1921年)に創立された豊中中学校(現：豊中高校)、「梅花女」とは大正15年(1926年)に大阪市内から移転された梅花女学校(現：梅花中学校・高等学校)です。豊高道はこの2つの学校が現在地に建設されたのに伴い、豊中駅からの通学路として開かれたのが始まりです。当時は舗装もされておらず、中学生、女学生の他は数少ない住民が歩き、時々、十二人乗りの阪神合同バス(阪急バスの前身)が東豊中まで走るのんびりした道路でした、その頃の道幅は10間(18メートル)で、別名「十間道路」と呼ばれていたそうです。また、府道豊中・箕面線(当時)として箕面街道が開通したのは昭和7年(1932年)です。駅前から銀座通り、阪急豊中市場の賑やかな通りを抜けると、右は上野へ向かう十間道路、左には桜井谷村内田(現：桜の町6丁目)へ向かう細い農道が繋がっているそんな風景に、未だ小学校が無かった「大池」の傍らに石碑が建っていました。この道標は100年の間、駅前の移り変わりを見守り続けています。

環境部会のメンバー募集！

【活動日】

火曜日14時～・金曜日16時～

(都合のつく日だけで大丈夫です。)

【活動内容】

・花の手入れ(こもれびガーデン、三井住友銀行、りそな銀行など)

・年2回の花の植え替え

・大池小学校での子供たちが植えるゴーヤ、

パンジーの苗植えの手伝い

お問合せは06-6852-7661 コバヤシ(協議会事務局)まで

